

君津駅周辺まちづくりに係る検討状況について

建設部

1 令和5年度の取組

本市の玄関口である君津駅周辺は、都市交流拠点として都市計画マスタープランに位置付けており、活気あふれる新たな賑わいを創出するため、今後のまちづくりについて検討を行っている。

令和5年度は、駅周辺の現状把握のため、君津駅周辺利用者や20～40代のモニターを対象にしたアンケートや事業者ヒアリングなどのニーズ調査を実施するとともに、低未利用地や公共施設等の既存ストックの調査を行い、課題の整理や、まちづくりの方向性を検討した。（添付1、2）

(1) 課題の整理

- ア 待ち時間に利用できる場所が少ない
- イ 買物や飲食を楽しめる店舗が少ない
- ウ まちづくりの方向性の共有・共感
- エ まちづくりに参画する担い手の育成
- オ 公共施設の更新・再編や市有地の活用

(2) 方向性の検討

- ア 買物や飲食を楽しめる店舗の充実
- イ 低未利用地の土地利用転換に向けた機運醸成
- ウ まちづくり構想の策定・推進
- エ まちづくりの方向性を協議する場・組織の構築
- オ 公共施設の更新を契機とした拠点施設の検討

2 令和6年度の取組（案）

庁内検討チームを組織し、待ち時間に気軽に利用できる空間の検討などのほか、公共施設の更新に向けた検討や、民間によるまちづくりの担い手の発掘、まちづくりの方向性を協議する場・組織（プラットフォーム）の構築等に取り組んでいく。